

令和7年度大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会

山陰インバウンド機構 説明資料

令和7年度の取り組み事例紹介

事業名	事業の目的・内容	決算見込額 (千円)
サステナブルツーリズム 情報発信事業	「Nature&Activity」をテーマ軸とした動画の制作・配信、自然や文化への関心の高い外国メディア・旅行会社向けプロモーションイベントの開催等により、サステナブルツーリズムを志向する旅行者層への認知拡大及び山陰ファンの形成を図る。	11,955

【事業の進捗状況等】

① Nature&Activity動画の制作・発信

6つの地域を取り上げ、各地の自然や文化のストーリーにアクティビティを効果的に組み込んだ動画等を制作してSNS配信したほか、「山陰のネイチャー & アクティビティ商品流通環境整備事業」で造成した着地型商品のプロモーション動画として活用した。

対象地域：山陰海岸、三徳山、大山、中海・宍道湖、隠岐、奥出雲

制作動画：6地域×各1本（英語）×2種類（横型+縦型ショート）

※Instagramリール再生回数 52,000回（2/24時点）



隠岐のコンテンツ紹介動画

② SAN'IN DISCOVERY NIGHTの開催

首都圏在住外国人（海外メディア記者、インフルエンサー等）、インバウンド取扱い旅行会社等を対象としたプロモーションイベントを開催するとともに、動画制作の対象地域のDMO等にブース出展していただき、商談及び関係構築の場とした。

日時 令和8年2月3日（火）午後6時～8時30分

会場 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス

参加者 89名（旅行会社47名、メディア16名、通訳案内士10名、その他16名）

出展団体 麒麟のまち観光局、三朝温泉観光協会、大山観光局、中海宍道湖大山圏域観光局、隠岐ジオパーク推進機構、鉄の道文化圏推進協議会、山陰観光ビジネス推進企業体、広島国税局酒類業調整官



SAN'IN DISCOVERY NIGHT

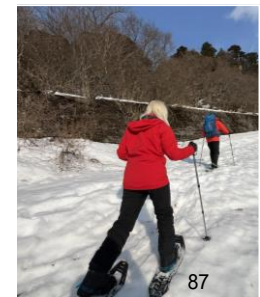
③ FAMツアーの実施

国内在住のライター、インフルエンサー等を対象にNature&ActivityをテーマとしたFAMツアーを実施し、プロモーションイベントで参加者に向けて山陰の魅力や感想をプレゼンテーションしていただいたほか、自身のSNSでも情報発信いただいた。

10月 METROPOLIS JAPAN編集者 Takeshi Dylan Sadachi 氏：松江サイクリングガイドツアー、ナイトウォークほか

11月 アメリカ人インフルエンサー（フォロワー28.1万人）Frankie 氏：同上

1月 株式会社BOJ（欧米豪の富裕層を顧客にもつ旅行会社）：大山スノーシューガイドツアー、皆生温泉、美保関ほか



大山スノーシューツアー

事業名	事業の目的・内容	決算見込額 (千円)
山陰のネイチャー & アクティビティ商品 流通環境整備事業	世界的な潮流であるサステナブル・ツーリズムとの親和性の高い「ネイチャー & アクティビティ」を山陰観光のウリとして掲げ、管内DMOが造成したサステナブルな観光コンテンツや着地型ツアー等を組み合わせた地域周遊・長期滞在プランを積極的に市場へ投入し、OTA掲載、海外旅行社によるツアー商品化及び継続販売に向けた商談、現地エージェント活用等を通じ、流通環境整備を図る。	4,994

【事業の実績等】

■ 自然もしくは関連した文化を活用したアクティビティ商品の流通化：OTA掲載14本

- ・鳥取砂丘：ファットバイクツアーと砂の美術館／4名販売
- ・冬の「大山」で雪を楽しむ！スノーシューと雪上ランチ体験／2名販売
- ・鳥取砂丘満喫！海鮮グルメ&サンドボード体験ツアー／6名販売
- ・松江レンタサイクルサービス／41名販売 など

■ 旅行会社によるツアー商品化：3ツアー×11本催行

- ・山陰・山陽の紅葉絶景コース／66名販売
- ・山陰・山陽雪景色満喫コース／60名販売
- ・冬の島根と晴れの国岡山周遊コース／83名販売

【まとめ】

旅行会社によるツアー商品のうち、1本は山陰エリア内に3泊の商品、2本は山陰エリアに2泊の商品を販売
 数値実績：送客数269人、延べ宿泊者数478人泊、売上額45,121千円

事業名	事業の目的・内容	決算見込額 (千円)
通訳ガイド養成 及びネットワーク 構築事業	<p>【目的】 山陰地域において通訳ガイド人材の確保と受入対応力の強化が課題となっている状況を踏まえ、意欲ある人材の発掘とスキル向上研修を実施するとともに、当機構において個々の能力や特性を十分に把握できていない現状に対応するため、ガイド人材のリスト化とネットワーク構築を進め、地域全体の周遊観光を適切にコーディネートできる通訳ガイドの育成を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>① 通訳ガイド養成講座：山陰在住の全国通訳案内士、山陰地域限定通訳案内士に加え、資格取得を目指す人材を対象に、ガイドの基本姿勢や表現技術、地域理解の深化を目的とした座学形式の講座を実施（全2回）</p> <p>② フィールドワーク：①の受講者を対象に、実際の観光現場を想定した実践的なガイディング演習を行い、進行管理や安全配慮、臨機応変な対応力など現場で求められる実務能力の習得を図った（全2回）</p> <p>③ ガイドリストの作成：機構が旅行会社へ円滑に情報提供できるよう、資格、得意分野、対応言語、実務経験等を整理したガイドリストを作成し、マッチング基盤を整備した</p> <p>④ マッチング交流会：旅行会社と通訳ガイドが直接交流できる機会をオンラインで設け、相互理解の促進と具体的な業務機会の創出につなげた</p>	5,995

【事業の進捗状況等】

項目	目標	成果実績	達成率
通訳ガイド養成講座 参加者	40人	72人	180%
フィールドワーク 参加者	40人	75人	188%
旅行会社からのガイド依頼	40件	446件	1115%
養成講座・フィールドワーク 参加者の満足度	満足度100% (とても満足 68%・満足 32%)		
通訳ガイドリストの作成	37名		
オンラインマッチング交流会 2025.12.11	旅行会社 5社 9名 × ガイド 24名		

【成果・課題】

座学とフィールドワークを段階的に実施し、通訳ガイドの意識形成から実務能力の定着までを体系的に育成した。ガイド業務は個人単位で従事し、他者のガイディングに触れる機会が限られることから、本事業を通じて相互のスキルを学び合い、交流を深める機会を創出することができた。

一方で、育成人材を継続的に実務へつなぐマッチング体制の不足や資格制度上の参入障壁が課題として顕在化した。

今後は、育成と実務の循環を確立し、地域全体の受入体制強化と観光価値向上を図る必要がある。



9/07 通訳ガイド養成講座
受講者によるガイドスクリプトの発表



10/18 フィールドワーク
講師によるバスガイドの実演